

**国内宇宙ビジネスの中心地「日本橋」において
「IBARAKI スペースサプライネットワークの発足・PR イベント」
を開催しました**

県では、この度、国内有数の「ものづくり県」である茨城県の企業が結集し、ものづくりの専門的な知識や独自の技術で日本の宇宙産業のサプライチェーンに貢献する、宇宙機器に特化した共同受注ネットワーク「IBARAKI スペースサプライネットワーク」を発足することとし、その発足をPRするイベントを、下記のとおり開催いたしました。

記

(1) 開催概要 → 詳細は別添プログラムをご確認ください。

日時	令和6年10月31日(木) 16:30~18:30
場所	X-NIHONBASHI TOWER co-working & conference space (東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー7階)
主催	茨城県
後援	内閣府宇宙開発戦略推進事務局、経済産業省、(国研)宇宙航空研究開発機構、(一社)SPACETIME、(一社)クロスユー
内容	「宇宙産業の成長×地域企業」をテーマに、国内の宇宙産業をリードする多彩なキーパーソンによるパネルディスカッションや講演会、共同受注ネットワーク参画企業による技術・製品のPRなどを実施
参加者数	117名

(2) 知事による挨拶・趣旨説明

知事発言内容(抜粋)

- ・ 本日、国内有数の「ものづくり県」である茨城県の企業が結集し、他には例のない宇宙機器に特化した共同受注ネットワークを発足した。
- ・ 様々な技術分野で独自の強みを持ち、宇宙ビジネスに情熱を持った企業が、現時点で34社参画している。
- ・ この「IBARAKI スペースサプライネットワーク」をぜひ活用いただきたい。



(3) パネルディスカッション

「宇宙機器サプライチェーンと地域企業への期待」をテーマに、宇宙機器サプライチェーンの現状と課題や、地域のものづくり企業に求められることについて、国内の宇宙産業をリードするプレーヤーとともに、ディスカッションを行いました。

知事発言内容（抜粋）

- ・ ネットワークとして、宇宙ビジネスに意欲のある企業がどういう技術を持ち、どういう可能性があるかを可視化することは、発注者側にとっても意味のあることであり、東京を中心とした宇宙ベンチャーとの関係構築も期待できる。
- ・ IBARAKI スペースサプライネットワークの運用を通して、さらに茨城県に宇宙ビジネスを根付かせていきたい。
- ・ 本日学んだことを糧に、県としても県内企業の支援に取り組んでまいりたい。

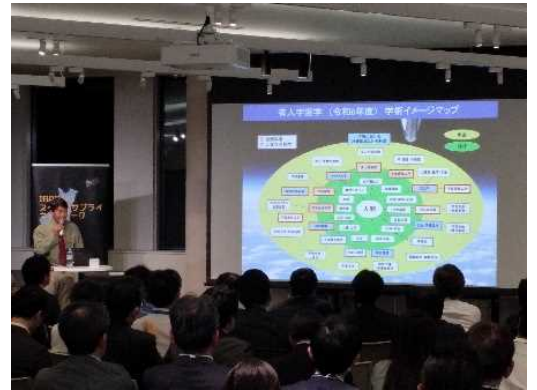


左から

- ・ (一社) SPACETIDE 共同設立者・理事兼 COO 佐藤氏
- ・ 茨城県 大井川知事
- ・ JAXA 理事兼筑波宇宙センター所長 瀧口氏
- ・ (株) 将来宇宙輸送システム 代表取締役社長兼 CEO 畑田氏

(4) 土井宇宙飛行士（いばらき宇宙ビジネスパートナー）による講演

「有人宇宙活動と宇宙ビジネス」をテーマに、有人宇宙活動の中で使われている様々な技術や、現在取り組まれている木造人工衛星プロジェクトなどについてお話しをいただきました。



(5) 県内企業による宇宙関連技術・製品のPR

IBARAKI スペースサプライネットワークに参画する県内企業3社（※写真左から（株）菊池精機、（株）ベテル、日東電気（株））から、各社の技術や製品をPRしました。

